※令和４年度以降入学生用

| 学校番号 | １０１０ |
|---|---|

# 令和５年度　情報科

| 教科 | 情報 | 科目 | 情報Ⅰ | 単位数 | ２単位 | 年次 | １年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 「最新情報Ⅰ」　（実教出版） | | | | | | |
| 副教材等 | 30 時間でマスター　Office2016　（実教出版） | | | | | | |

## １　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・情報化社会が進展していく中で、コンピュータやネットワークについて、実践的・体験的に学習することで情報化社会を生き抜く力を身につけましょう。
・コミュニケーション力が求められている中で、目的や場面に応じたコミュニケーションの手段を使い分ける力を身につけましょう。

## ２　学習の到達目標

・情報の特徴と情報化が社会に及ぼす影響を理解する。
・情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に活用して、情報を収集、処理、表現する。
・効果的にコミュニケーションを行う能力を養い、情報社会に積極的に参画する態度を育てる。

## ３　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a:知識・技能 | b:思考・判断・表現 | c:主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 情報及び情報技術を活用するための基礎的・基本的な知識・技能を身に付け，目的に応じて情報及び情報技術を適切に扱っている。 | 情報や情報社会における身のまわりの問題を解決するために，情報に関する科学的な見方や考え方を活かすとともに情報モラルを踏まえて，思考を深め，適切に判断し表現している。 | 情報や情報社会に関心をもち、身の回りの問題を解決するために、自ら進んで情報及び情報技術を活用し、社会の情報化の進展に主体的に対応しようとする。 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 一学期 | 情報社会 | ・ネット上のモラル<br>・パスワード、セキュリティ<br>・知的財産権 | a:事実的知識を習得している<br>b:問題を発見し、解決策を考えることができる<br>c:関心や意欲をもって自ら取り組んでいる | ・定期考査 | ・定期考査<br>・グループワーク | ・振り返りレポート |
| | 情報デザイン | ・文章作成(ワープロソフト) | a:文章作成するためのワープロソフト操作技能を身に付けている<br>b:相手に伝えたい内容を文書や図解により効果的に表現できる<br>c: 関心や意欲をもって自ら取り組んでいる | ・定期考査<br>・実習課題 | ・定期考査<br>・実習課題 | ・振り返りレポート<br>・実習課題 |
| | データの活用 | ・データ分析のための表計算ソフト(エクセル)の活用 | a:データ分析のためのエクセル操作技能を身に付けている<br>b: 目的に応じて適切な関数を選択することができる<br>c: 関心や意欲をもって自ら取り組んでいる | ・定期考査<br>・実習課題 | ・定期考査<br>・実習課題 | ・振り返りレポート<br>・実習課題 |
| 二学期 | 情報デザイン | ・プレゼンテーション(パワーポイント) | a: プレゼンテーションのためのパワーポイント操作技能を身に付けている<br>b: 相手に伝えたい内容をスライドに効果的にまとめ表現できる<br>c: 関心や意欲をもって自ら取り組んでいる | ・実習課題 | ・実習課題<br>・発表 | ・振り返りレポート<br>・相互評価 |
| | ネットワーク | ・ネットワークのしくみ<br>・HTML による Web ページ作成 | a:Web ページを作成するための HTML の知識を身に付けている<br>b: 相手に伝えたい内容を Web ページで表現できる<br>c: 関心や意欲をもって自ら取り組んでいる | ・定期考査 | ・定期考査<br>・実習課題 | ・振り返りレポート<br>・相互評価<br>・実習課題 |

※令和４年度以降入学生用

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 情報のディジタル化 | ・アナログとディジタル<br>・2 進数と情報量<br>・数値、文字、音声、画像の表現 | a: コンピュータでさまざまなデータを扱うための事実的知識を習得している<br>b: 10 進数から 2 進数の計算やデータ量の計算ができる<br>c: 計算ができるまで繰り返し問題に取り組んでいる | ・定期考査<br>・実習課題 | ・定期考査 | ・振り返りレポート<br>・配布プリント問題 |
| 三学期 | プログラミング | ・アルゴリズムとその表記<br>・プログラミング<br>（Scratch、JavaScript）<br>・ | a: 身近な生活でコンピュータが活用されていることや、問題の解決には必要な手順があることに気付く<br>b:問題解決の手順をフローチャートで表現することができる<br>c:フローチャート通りにプログラムが実行されるまで、何度も繰り返し取り組んでいる | ・定期考査<br>・実習課題 | ・定期考査<br>・実習課題 | ・振り返りレポート<br>・実習課題 |

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度